

この書簡は電子メールでのみ送信します。 (仮訳)

2025 年 5 月 29 日



大阪府知事 吉村 洋文 様、大阪市長 横山 英幸 様

私たちは、沿岸湿地の保全に関連して、2025 年大阪・関西博覧会におけるネイチャー・ポジティブな対応の可能性について、貴殿にお伝えします。

この書簡の共同署名者には、英國王立鳥類保護協会（RSPB）の最高経営責任者も含まれています。RSPB は 120 万人の会員を擁するヨーロッパ最大の自然保護団体であり、バードライフ・インターナショナルの英国パートナーです。同様に日本野鳥の会（WBSJ）も日本のバードライフパートナーです。WBSJ 理事長の遠藤孝一は、他の日本の自然保護 NGO 5 団体とともにこの書簡に共同署名しています。

日本と同様、イギリスも島国であるため、渡り鳥やその他の生物多様性だけでなく、人間にとっても沿岸生態系の重要性を理解しています。RSPB が英国内に所有する 222 カ所の自然保護区（159,000 ヘクタール）のうち、84 カ所が沿岸部に位置し、その面積は 41,000 ヘクタールを超えています。その中には、テムズ河口域のウォールシー島におけるヨーロッパ最大の沿岸湿地再生プロジェクトも含まれています。

RSPB はイギリス全土で活動しているほか、バードライフ・インターナショナルのパートナーとともに、またパートナーを通じて、世界各地で実質的な変化をもたらす活動を行っています。過去 15 年間、RSPB の世界的な種回復の優先事項のひとつは、絶滅危惧種に指定されているヘラシギの絶滅の防止を支援することでした。この象徴的小型の涉禽類は、現在 800 羽以下しか生息していません。大阪湾は、ロシア北東部の繁殖地と東南アジアの越冬地を結ぶ東アジア・オーストラリア地域フライウェイに沿って、毎年渡りをする際に必ず立ち寄る場所となっています。

ヘラシギは、東アジア・オーストラリア・フライウェイを利用する数 100 万羽の水鳥にとって重要なフラッグシップ（旗艦）種です。これらの種の多くは、主にフライウェイ（渡りのルート）沿いの沿岸湿地帯の喪失が原因で絶滅の危機に瀕しています。



The RSPB is part of BirdLife International, a network of passionate organisations, working together to save nature across the world.

夢洲は日本で 5 本の指に入る重要なヘラシギの観測地でした。しかし、大阪・関西万博 2025 の会場開発により、沿岸湿地の大部分が失われたため、それ以降ヘラシギの記録は確認されていません。

私たちは、2025 大阪・関西博覧会の目標「持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献する」ことに注目しています。これは、現在のネイチャーネガティブである万博開発を、ネイチャーポジティブな取り組みへと転換する機会となり得るのではないでしょうか。

そのためには、過去数 10 年間の大坂湾の沿岸湿地が甚大に失われてきたことによる対処、代償として、以下のような対応が考えられます。

- 夢洲に残された水辺を、移動性の水鳥のために管理すること。
- 大阪湾における他の沿岸湿地の保護、管理、再生、創出を推進すること。これには、海面上昇やより深刻化する気候変動の影響への適応を図ること、ならびに地域住民への利益をもたらすことも含まれます。

そのような取り組みを、万博のどこかの時点で発表できれば素晴らしいと思います。例えば、夢洲の将来の確定と合わせて発表することも考えられるのではないでしょうか。この件に関するより具体的な提案については、添付のブリーフィング資料をご覧ください。RSPB の沿岸アドバイザーであり、大規模な沿岸再生プロジェクト（上記のウォールシー島再生事業など）を手がけてきた専門家である、ジェフ・キュー氏の提言も含まれています。ジェフ・キュー氏は最近、英國総領事マイケル・ブライス氏や地元の NGO とともに大阪湾を訪問しました。

もしこの取り組みにご関心をお持ちいただけようでしたら、市長または知事、関係部署のメンバーと提案について話し合うための会議を私たちは提案したいと思います。そこでは、沿岸生態系の保全・再生における、英國の世界的な専門知識の交換も可能です。私たちは、夢洲を含む大阪湾が、このようなアプローチのモデルケースとなることを願っています。

私たちはマイケル・ブライス総領事およびキャロリン・デビッドソン万博英國政府代表と、英國総領事館がこうした専門知識の交流を促進する可能性についても話し合ってまいりました。この取り組みは、昨年 9 月に駐韓英國大使館が主催し、RSPB も参加した「気候変動対策に関する英國・韓国協力のための海洋生物多様性保全に関する合同セミナー」<sup>(1)</sup> の成功を基盤とするものです。

<sup>1</sup> 本セミナーでは、大韓民国からの発表が 3 件、英國からの発表が 3 件行われました。発表内容は海洋環境の重要性と保全、世界遺産推薦（イングランド東海岸フライウェイ）、およびブルーカーボンに関するもので、さまざまな団体から 60 名以上が参加しました。RSPB は、大韓民国海洋水産省との間で締結された覚書(Memorandum of understanding)に基づいてこのセミナーに関与しました。東海岸フライウェイ（ハンバーからテムズ川）の世界遺産推薦を指示し、沿岸湿地の管理および再生などに関する能力構築にも協力しています。



The RSPB is part of BirdLife International, a network of passionate organisations, working together to save nature across the world.

私たち RSPB およびこの書簡に共同署名した日本の NGO 一同は、本提案に対して前向きにご検討いただけますよう、心よりお願い申し上げます。今後のさらなる協働について話し合う機会を楽しみにしております。

敬具

ベッキー・スペイト

最高経営責任者

英國王立鳥類保護協会

遠藤 孝一

理事長

公益財団法人 日本野鳥の会

土屋 俊幸

理事長

公益財団法人 日本自然保護協会

末吉 竹二郎

会長

世界自然保護基金 (WWF) ジャパン

夏原 由博

代表理事・会長

公益社団法人 大阪自然環境保全協会

高木 憲太郎

理事長

NPO 法人 バードリサーチ



The RSPB is part of BirdLife International, a network of passionate organisations, working together to save nature across the world.

納家 仁  
支部長  
日本野鳥の会大阪支部

Cc

2025 年万博担当大臣 伊東 良孝 様  
英国総領事 マイケル・ブライス 様  
2025 年大阪・関西万博英国政府代表 キャロリン・デビッドソン 様  
駐日英国大使館グローバル・チャレンジ・カウンセラー ジョー・ヤング 様

